



議会 だより

千早赤阪

ちはやあかさか

特集：代表質問、予算常任委員会



大阪唯一、小さな村から、
大きな未来



目次

P 2		議決結果
P 3		議長コラム、議員表彰、今月の表紙
P 4～5		代表質問、予算常任委員会質疑
P 6～11		一般質問
P12		ぎかいの窓、雑感、次回定例会の予定

発行 千早赤阪村議会 / 編集 議会広報編集委員会



3月定例会 議決結果

○全会一致で承認・可決・同意された案件

議案名	主な内容
専決処分（令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第9号））の承認を求めることについて	令和8年2月8日執行衆議院議員選挙及び大阪府知事選挙に係る選挙関係費の増等
千早赤阪村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	特定乳児等通園支援事業の実施に際して遵守すべき最低基準として、運営に関する基本的事項を定める条例制定
千早赤阪村行政手続条例の改正について	不利益処分前の「聴聞・弁明の機会の付与」の通知（公示送達）に関する改正
千早赤阪村附属機関に関する条例の改正について	総合計画等を審議するため、新たに千早赤阪村むらづくり会議を設置する改正
一般職の職員の給与に関する条例及び千早赤阪村会計年度任用職員の報酬等及び費用弁償に関する条例の改正について	自動車等の使用者に対する距離区分に応じた通勤手当等の改正
職員の旅費に関する条例の改正について	宿泊手当の改正
千早赤阪村役場内簡易郵便局郵便切手等購入基金条例の改正について	基金の額を65万円以内に増額する改正
千早赤阪村介護保険条例の改正について	令和7年度税制改正における給与所得控除の見直しにより、標準段階が変動する被保険者について、当該変動前の保険料に据え置くとする等の改正
千早赤阪村下水道条例の改正について	災害やその他非常の場合において、村長が認めるときは、他の市町村長の指定を受けた者が排水設備に関する工事を行うことができるようにする改正
千早赤阪村消防団員等公務災害補償条例の改正について	非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額等の改正
令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第10号）	決算見込に伴う不用による減等
令和7年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	
令和7年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第3号）	
令和7年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	保険料徴収額増に伴う納付金の増等
令和7年度千早赤阪村下水道事業会計補正予算（第2号）	過年度流域下水道負担金の返還金に伴う科目の設定
令和8年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算	令和8年度当初予算
令和8年度千早赤阪村介護保険特別会計予算	
令和8年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算	
令和8年度千早赤阪村下水道事業会計予算	
河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について	介護認定審査会事務局を太子町に変更するため
教育委員会委員の任命について	山本英俊氏を同意

○賛否の分かれた案件

各議員の審議結果 ○・・・賛成 ●・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 議・・・議長	結 果	田 村 陽	井 上 浩 一	中 野 智 子	南 本 斎	畑 智 恵 美	尾 崎 充 宏	建 石 和 則
千早赤阪村国民健康保険条例の改正について	原案可決	議	○	○	○	●	○	○
令和8年度千早赤阪村一般会計予算	原案可決	議	○	○	●	●	○	○
令和8年度千早赤阪村一般会計予算に対する修正案	否決	議	●	●	○	○	●	●
令和8年度千早赤阪村一般会計予算に対する附帯決議	否決	議	●	●	●	○	●	●



村議会議長 田村 陽

▼令和8年度予算成立

3月19日、令和8年度一般会計予算が賛成4反対2の賛成多数で可決となりました。今年度予定されている主な事業として、テーマ型コミュニティ・スクール導入事業、中学校下府道の線形改良工事、中学校トイレ等改修事業、村民運動場改修事業、テニスコート改修工事、くすのきホール改修工事などがあります。

また令和8年は千早村と赤阪村が合併して70年を迎えることから、70周年記念事業も予定されています。

制作、千早赤阪音頭の再生などが予定されているとともに、村民企画事業への助成も予定されています。ドシドシご応募賜りますようお願い致します。

また70周年記念事業の一環として、村議会からはこども議会の実施を提案させていただきました。今後村を支えていくてくれる子どもたちには議会制度とはどのようなものなのかぜひ体験していただきたく思っております。

記念すべき村制70周年を村民一丸となってお祝いできるようながんばってまいりますので、皆様のご支援をどうかよろしくお願い致します。

今月の表紙



中津原 神澤 燕 さん 5歳

しずく さん 5カ月

父 照
母 明希

元気に大きくなってね。

○田村 陽 議長

議会活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることを大きく評価し、その功労に報いるため、特別表彰が授与されました。



議員表彰・全国町村議会議長会 特別表彰

村制施行70周年記念ロゴマーク・キャッチフレーズ



大阪唯一、小さな村から、
大きな未来

千早赤阪村の魅力を発信し、村全体で盛り上げるためのロゴマーク・キャッチフレーズが決定しました。

(作者：宮東美奈子様)

菊井村長の村政運営方針に対して、各会派が代表質問しました。
紹介するのは、質疑と答弁の一部です。詳しくは、YouTube や議事録をご覧ください。

南本 斎 議員（千早赤阪村げんき会議）

Q 住みたい、住み続けたい村とするためにどのような手立てを行うのか。

A 新築マイホーム補助事業、インフラ整備、ふれあい収集など、住環境を適切に維持管理していく。

Q 合併について積極的に議論するという事は推進するのか。

A 本村域の発展、成長を目指す選択肢として、合併は有力な候補。積極的に調査研究すべきと考える。

畑 智恵美 議員（日本共産党）

Q 70周年記念事業は、お祝いよりも、村の今後を村民とともに考える好機にすべきでは。

A 村民とともに考え取り組む事業として、こども議会の開催や村を盛り上げる村民企画への補助を行う。

Q 地域公共交通利用支援事業の予算案では対象者全員がカバーできていないのでは。

A 予算は、毎年増加する利用実績に基づいて計上している。利用者を増やすための周知は広報やホームページで行っている。

井上 浩一 議員（公明党）

Q 地球環境問題が重要視されていないようだが、見解を問う。

A 「金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例」は環境問題を重視している。村の恵み、豊かな環境を守り、次世代に引き継ぐという基本理念のもとに取り組んでいる。

Q 国主導の災害対策だけでなく、村として独自の視点で対策を検討すべきではないか。

A 令和7年度に地域防災計画の全面的見直しを実施した。少ない村職員体制を補い、実効性を高めるためにも地域住民との連携強化を推進する。

建石 和則 議員（平政会）

Q 小吹台のいきいきサロンやまゆりの建て替えについて問う。

A 建て替え事業費の見積もりが非常に高額となった。そのため、小吹台地区全体の活性化の中核施設としての在り方を庁内横断的に検討していく。

Q 若い世代の行政参加について、具体的にどのような事業を考えられているかを問う。

A 若い世代の柔軟な発想、新しい価値観を村政に取り入れたい。そのために、地域で活動する若者と座談会形式で意見交換する場を設けたい。

中野 智子 議員（信智会）

Q 千早赤阪村農と緑の活性化推進会議の目的と千早赤阪村にもたらされる利益を問う。

A 村の活性化が目的であり、金剛山周辺活性化、来訪者に村内周遊してもらう工夫、道の駅の充実、観光農園立地促進などで、訪れたいと思える村づくりを進める。

Q 高齢化による健康管理は、これまで以上に予防の分野を充実させるべきではないか。

A 特定健診の無料実施、フレイル予防教室、口腔ケア、栄養の健康教室実施、さらには、带状疱疹ワクチンへの助成も拡大し、疾病予防、重度化予防に取り組んでいく。

予算常任委員会質疑

令和8年度一般会計予算

＜70周年記念事業について＞

【問】 村民企画事業とは。

【答】 70周年記念として村民に地域の活性化につながる企画提案してもらい実施する事業である。

【問】 村民企画事業補助金300万円の内訳は。

【答】 村内全域を対象とする提案では150万円、地域限定では30万円上限で考えている。

＜ふるさと応援寄付金について＞

【問】 2000万円の収入が計上されているが具体的な方策、根拠は。

【答】 ポータルサイトを1カ所増やし4カ所とする。1カ所当り500万円見込んでいる。

【問】 実績からかけ離れている。ふるさと納税を増やすには、長期保存できる加工品の開発が必要では。

【答】 加工品開発に対して現在村としての支援体制はない。今後検討する。

＜政策推進費について＞

【問】 総合計画及び総合戦略改定業務委託料とは。

【答】 人口減少を受け入れざるを得ないという国の地方創生2・0の基本理念に沿って村の計画

を改定するためのもの。

＜地域活性化事業について＞

【問】 地域活性化起業人としてどのような対象を考えているのか。何人予定しているのか。

【答】 官民連携の研修会などに参加して、企業の方と話をしながら探っている段階。インスタ、SNS戦略の運用、ふるさと納税サイトの改善などに資する人材。2人分計上。

＜農と緑の活性化事業について＞

【問】 金剛山と楠公誕生地周辺の活性化事業における情報発信支援業務委託料の内容は。

【答】 観光ナビのホームページと活性化の情報をインスタで発信する業務。プロポーザル方式の入札で選定する予定。

【問】 活性化ビジョンが提示されない中での予算化は順番が逆ではないか。

【答】 まだ提示できていないが、大阪府と一緒に取り組んでいる活性化ビジョンに基づき、補正予算も含めて具体的な取り組みを議論する。情報発信については先行する形で予算化した。

＜災害対策費について＞

【問】 災害時には口腔ケアの不良から感染症が懸念される。水歯磨きやうがい薬の備蓄は。

【答】 重要備蓄品11項目以外となるが、検討していきたい。

令和8年度国民健康保険特別会計予算

【問】 ヘルスアップ事業委託費の対象は。

【答】 特定健診未受診者勧奨900名、糖尿病性腎症重症化予防200名、服薬適性管理180名を想定している。

【問】 委託による服薬適正化の指導はどのように行うのか。

【答】 通知勧奨を送付後、基本は電話による保健指導を考えている。

令和8年度介護保険特別会計予算

【問】 介護保険を使っていない人でも手すりのニーズがある。設置補助は検討できないか。

【答】 村独自で可能かどうか、国の要綱を確認して検討する。

令和8年度下水道事業会計予算

【問】 小吹台地区の不明水調査業務とは。

【答】 雨天時に汚水量が急増している。雨水管が誤って污水管につながっている場合などもあり、原因を特定していく業務。



村民の健康寿命のための施策について



AI を活用し分析し、電話による勧奨も行っている



中野智子 議員

問 本村は、特定健診の受診率向上のために、特定健診勧奨業務として、令和3年度より外部団体へ業務委託を行っている。令和7年度は、糖尿病性腎症重症化予防を含めて、387万円が予算計上されている。どれだけの効果があったのか、どのような分析が報告されたのか。それを踏まえて、令和8年度の計画案は。

答 特定健診未受診者へ、受診勧奨通知の作成・印刷・発送業務をはじめ、重症化リスクの高い方については、AIを活用して分析し、電話による勧奨を行っている。

令和8年度からは、服薬適正化事業を追加し、業務委託を行う予定である。

問 国民健康保険対象者は、約1000名。そのうち未受診者600名余りを対象に勧奨業務を行っているが、約10名、受診者が増えただけで効果が

あつたとは言い難い。住民に、特定健診の必要性について周知する必要がある。小さなコミュニティを中心に、親切的な指導を行うことが、受診率の向上につながるのではないかと。外部委託する前に、村内でできる限りの「予防」指導を行うべきではないか。特定健診の資料の配布など、もっと村民のためになるような効果的な対策はないのか。

答 委託料は、村の一般財源でなく、全額府の交付金を活用している。特定健診の重要性に関しては、効果的な周知が必要であると認識している。引き続き、丁寧な説明を行い、村内医療機関と連携強化を図り、受診率の向上に努める。

問 建設から36年経過したB & G 海洋センターの運営の充実を図るため、利

B & G 海洋センターの利用について

用料金の早期見直しを行うべきではないか。また、体育館に限らず、既存施設の有効活用を積極的にを行い、村民が利用しやすい環境づくりが必要ではないか。

答 物価高騰など社会の変化を踏まえ、見直しを検討する必要があると考える。村民のためにニュースポーツの紹介や、施設使用に關しては、予約受付や案内チラシの配布など、使用勧奨に努めている。

問 高齢者対象だけでなく、幅広い年齢層に対して、利用しやすい環境を整え、収入と経費のバランスの取れた新しい事業計画が必要ではないか。村民数の減少、少子高齢化の推移を考慮し、利用を健康寿命の延伸につなげてはどうか。

答 使用しやすい環境づくりには、行政が実施主体となると、使用規定と共に、免除規定についても検討する必要がある。今後も

「道の駅」の進捗状況と今後について



B & G 海洋センター

施設の有効活用に関しては、使用料収入の増に向けて、取り組んでいきたい。

問 道の駅は、令和9年3月に返却される予定である。この契約事業は、返却に向けて、予定通り進んでいるのか。その後の道の駅が、村民の意向にそって、考えられているのか、具体的な方向性に関して質問する。

答 現状の「道の駅」については、予定通りに進んでいる。その後の道の駅の在り方は、現在「農と緑の活性化ビジョン」を大阪府と連携して進めており、検討しているところである。

問 過疎債や大阪府に頼るだけでなく、自主財源を確保する思い切った事業計画が必要。村外の企業が参画しやすい環境づくりが求められる。今までと同じことを繰り返していても、同じ結果しか得ることができない。村の現状では、少しでも結果を残す解決策が必要ではないか。

答 「楠公誕生地周辺エリア」と「金剛山周辺エリア」の両エリアで回遊を促進し、活性化を図ることを検討している。村外から人を呼び込み、村内生産者が迎えて、交流することで村を活性化したい。



南本 斎議員

景観条例制定について

問 村は大阪府の景

問 東阪地区の府道沿でプラスチック業の事業者は、令和5年に違法建築等で

問 現時点での実績として、令和元年度に1業者に対し2回要請し、事業者は住民説明会を実施している。

ら、部分的な拡幅整備を進めるよう努める。

問 拡幅整備には時間がかかる。地元の方々と意見交換を早期に計画しては。

問 補修などを計画的に行い、地元の協力を得ながら、部分的な拡幅整備を進めるよう努める。

問 拡幅整備は地元の協力が不可欠。まずは既存の村道維持管理を最優先に取り組み、将来的に拡幅整備の可能性を慎重に検討していく。

問 持続的な村の発展には必ず必要。拡幅を実施するための条件整備を伺う。

問 拡幅整備は地元の協力が不可欠。まずは既存の村道維持管理を最優先に取り組み、将来的に拡幅整備の可能性を慎重に検討していく。

問 現状では大阪府の景観条例で対応できていると考え、また不法投棄について、現場のごせの里を守り育てる千早赤阪村環境条例により対応していく。

問 答弁の条例第14条には、生活環境に影響を与える恐れのある特定事業を行おうとする者は、周辺住民等に説明会や意見交換を開催するなど必要な措置を講ずることになっている。過去に住民説明会、意見交換を要請したことはあるのか伺う。

問 現時点での実績として、令和元年度に1業者に対し2回要請し、事業者は住民説明会を実施している。

問 東阪地区の府道沿でプラスチック業の事業者は、令和5年に違法建築等で



中津原（不法投棄）

不法投棄された瓦の残材

問 令和6年度の決算は、差し引き村独自のコミュニティバス事業に4200万円もの税金を使っている。村独自としての1日、富田林・中学校間、

問 具体的な政策を検討するにあたっては、村地域公共交通協議会にも諮りながら、制度設計の過程において、住民の皆さんからの声をいただく機会を設け、施策を検討していく。

問 令和6年度実績として4市町村地域公共交通での利用状況は3万4255人。そして村コミュニティバス事業の状況は1万2230人で全体事業費の決算が8838万5千円、運賃収入等を差し引きし、5803万6千円が一般財源からの支出となっている。

問 地域公共交通空白地域を対象としたアンケート調査や交通利用実態調査を実施しているところ、調査結果などを踏まえ検討を積極的に進めていく。

問 アンケート内容を見る限り、業者に委託した内容である。村は13地区全てにおいて生活のサイクルが異なる。業者委託では地域性の理解は無理な上、高額な費用も発生する。他の自治体では、住民との取り組みで、公共交通の成功例もある。住民の声を反映した、本当に必要とされる公共交通政策をどのように考えるのかを問う。

問 地域公共交通空白地域を対象としたアンケート調査や交通利用実態調査を実施しているところ、調査結果などを踏まえ検討を積極的に進めていく。

問 アンケート内容を見る限り、業者に委託した内容である。村は13地区全てにおいて生活のサイクルが異なる。業者委託では地域性の理解は無理な上、高額な費用も発生する。他の自治体では、住民との取り組みで、公共交通の成功例もある。住民の声を反映した、本当に必要とされる公共交通政策をどのように考えるのかを問う。

問 地域公共交通空白地域を対象としたアンケート調査や交通利用実態調査を実施しているところ、調査結果などを踏まえ検討を積極的に進めていく。

問 アンケート内容を見る限り、業者に委託した内容である。村は13地区全てにおいて生活のサイクルが異なる。業者委託では地域性の理解は無理な上、高額な費用も発生する。他の自治体では、住民との取り組みで、公共交通の成功例もある。住民の声を反映した、本当に必要とされる公共交通政策をどのように考えるのかを問う。

問 地域公共交通空白地域を対象としたアンケート調査や交通利用実態調査を実施しているところ、調査結果などを踏まえ検討を積極的に進めていく。

問 アンケート内容を見る限り、業者に委託した内容である。村は13地区全てにおいて生活のサイクルが異なる。業者委託では地域性の理解は無理な上、高額な費用も発生する。他の自治体では、住民との取り組みで、公共交通の成功例もある。住民の声を反映した、本当に必要とされる公共交通政策をどのように考えるのかを問う。

問 地域公共交通空白地域を対象としたアンケート調査や交通利用実態調査を実施しているところ、調査結果などを踏まえ検討を積極的に進めていく。

問 アンケート内容を見る限り、業者に委託した内容である。村は13地区全てにおいて生活のサイクルが異なる。業者委託では地域性の理解は無理な上、高額な費用も発生する。他の自治体では、住民との取り組みで、公共交通の成功例もある。住民の声を反映した、本当に必要とされる公共交通政策をどのように考えるのかを問う。

問 地域公共交通空白地域を対象としたアンケート調査や交通利用実態調査を実施しているところ、調査結果などを踏まえ検討を積極的に進めていく。

問

今後、村道拡幅整備計画の策定を

答

地元の協力を得ながら進めるよう努める



議員 畑智恵美

問 学童保育の在り方に関する村の考え方は

答 「学童保育連絡会」からの要望を受けて、保護者会役員と話し合っている

問 村の学童保育は公設民営、小学校の空教室利用、保護者運営として、保護者や子どもたちのニーズに即した柔軟なプログラムとなっている。一方、連絡会役員への負担は大きく、しんどいとの声も出ている。学童保育の在り方への村の考え方は。

答 保護者運営「学童保育連絡会」へ補助金交付、保護者、子どものニーズに沿った運用を図っている。学童保育連絡会からは、昨年「学童保育の官営化に関する緊急要望」が提出された。要望を踏まえて課題抽出、近隣市町を調査。役員と今後について対話中。

問 村直営のメリット・デメリットは。

答 直営化のメリットは、運営管理体制の透明化、連絡会役員の事務負担の軽減。デメリットは、学校休暇期間の食事提供や送迎サービスなど、現状と同じ内容は、費用面や管理責任面から難しく、かつ運営経費の増大により、保護者負担額も増加する。

問 村直営で保護者負担増加との推計だが、保護者の経済的負担軽減への支援策の検討は。また、国の制度に縛られず、今の学童の良さを最大限維持でき、かつ保護者会役員の負担軽減策を検討できないか。

答 保護者の経済的負担の軽減については、調査研究を進める。また、柔軟な形態での運営については、役員の方々との協議の中で、最善策を検討する。

少人数を活かした学校教育の具体的内容の現状と今後は

問 子どもの数が減る中、2つの小学校間の取り組みとして、保護者からは「修学旅行は一緒にしてほしい」などの要望もあるが、教育委員会からは、2つの学校間でのすり合わせに、難しい面があるなどと聞いている。その現状、課題、今後の取り組みは。

答 また、個別最適な教育として、テストでは評価できない少人数だからこそできる学力を育てる取り組みは、ICTの活用は、考える力の成長に対して阻害要因との研究もあるが、その取り組みの現状は。

問 村立学校間で教育活動の共同化は議論中。教育委員会も可能な限り共同するよう指導。設置予定の学校運営協議会でも議論を重ね、実現可能な事業は開始する。「個別最適な学び」とは、子どもが自らの学習の状況を知り、主体的に学習を調整できる力で、日常の教育活動で実践している。ICTは、情報収集や対話的学習での情報共有ツールとして活用。話し合いの時間が確保でき、より深い学びにつながる。

問 学校間の教育活動の共同化に対しては、大人の視点だけでは不十分。少人数だからこそ、両校の子どもたちが顔を合わせて、希望や思い、学びについて話し合える場を設け、子どもたちの意見を聞くことが重要。その取り組みがなされているのか。

答 各学校の教育方針は学習指導要領と村の教育方針に基づき校長が作成し、学校運営協議会の承認を得る。

問 ①コミュニティ・スクールは、育てていくもの②子どもたちは様々な体験や出会いで、安心して失敗できること―教育委員会主催の研修会講師の話。子どもたちの意見を述べる力の育成、安心して失敗できる環境の保障など、進めていただきたい。

答 探究的な学習を中心に子どもたちが安心してチャレンジできる環境を体験し、主体的に学び、自分の意見を述べる力を育んでいく。

問 人権ジェンダー平等の視点から、村独自の「パートナーシップ制度」の創設を

答 現時点で府の制度への村在住者の登録実績や、相談はないので、村独自の制度創設は考えていない。

問 府の制度活用者や相談者がいないことで、村にパートナーシップ制度に対するニーズがないとはいえない。富田林市では、ファミリーシップも含む制度で充実している。村としての考え方を伺う。

答 ニーズがないとは考えない。性的マイノリティの方々が声を上げにくい状況があることも認識。村の計画の中でも、多様な性の在り方への理解促進を位置づけている。人権週間などを通じて、府の制度の周知・啓発に努めていくことを優先する。



働き方改革の推進を



フレックスタイム制度導入に向けては慎重に検討する必要がある

尾崎充宏議員

問 働き方改革の一環としてフレックスタイムの導入についての考えを伺う。

答 育児や介護など職員を取り巻く環境は多様化。柔軟な勤務制度の整備は人材

問 新規採用職員の定着率が低いが多様な人材の確保と職員の能力発揮を図る観点からも柔軟な働き方が求められている。

答 受付時間は勤務時間と同様。準備や精算のため、勤務時間前後の約10分程度超過勤務が発生している。また、受付については柔軟に対応している。

問 民間企業においては勤務時間の柔軟化が進展している。自治体も経費削減や業務の効率化を考える時期かと思うが村長の考えを伺う。

答 開庁時間を短縮すれば村民の皆様の利便性の低下にもつながることが考えられるため、各種証明書のコンビニ交付の導入時期を踏まえながら検討する。

問 全国的な市区町村は、住民票などの各種証明書発行といった住民サービスのための窓口の受付時間を相次いで短縮している。人件費の抑制や優秀な人材の確保、職員のスキルアップを図るなどの狙いがあるが、本村の現状は。

答 確保と定着の観点から一定の意義があるが住民サービスの安定的な提供が最優先。少人数体制の本村の場合、フレックスタイム制度導入に向けては慎重に検討する必要がある。

問 民間企業においては勤務時間の柔軟化が進展している。自治体も経費削減や業務の効率化を考える時期かと思うが村長の考えを伺う。

答 開庁時間を短縮すれば村民の皆様の利便性の低下にもつながることが考えられるため、各種証明書のコンビニ交付の導入時期を踏まえながら検討する。

特産物開発の応援について

問 特産物の開発に補助金を出しているが現在の状況はどうなっているのか。

答 令和7年度の実績は

計画的な村道整備について

問 令和7年度の村道維持管理工事の進捗状況と来年度の村道整備に係る計画について伺う。

答 村道水分森屋線は、9月に完成。中津原地区と小吹台地区は3月末までに完成予定。来年度の



サツマイモ栽培

6件、今年度はサツマイモの栗かぐやが、高く評価され、既に完売したと聞いている。農業振興と村の活性化につながるため、村として積極的に取り組んでいる。

問 中津原地区の村道整備は数年も継続しているがいまだ未完成。もっと集中して実施すれば期間も短く工事費も安価になると思うが。

答 集約することで設計業務の効率化や経費削減の観点からも有効だが、複数の工程があり一定の期間を要する。限られた

問 技術職員の不足が問題となっているが大阪府や他の自治体のOBなどベテラン職員を積極的に採用できないのか。

答 通年募集方式の導入を検討している。転職を希望する経験者や年度途中で就職を希望する方々にも、門戸を広げ優秀な人材の確保につなげる。



中津原地区の村道



村制施行 70 周年の取り組みは



村民企画事業補助金を予算計上



建石和則 議員

問 村制70周年でどのような取り組みを予定しているのか伺う。

答 村民主体の取り組みを後押しするための村民企画事業補助金を予算計上し、他にも講演会やイベントを企画している。

問 補助金、講演会、イベントの内容を伺う。

答 70周年を機に村の活性化につながる事業を支援するものであり、村内全域を対象とする事業に対しては上限150万円、主に地域住民を対象とする事業に対しては上限30万円を想定している。未来を担う世代が村政に関心を持ち、若者参画につなげるためのことも議会、子どもが国際的な視野に立ち、自ら考え、行動する力を育むことをテーマとした記念講演会を開催し、探求心を深め、自主的に学ぶ楽しさを知る動機づけを図る。

問 一過性のイベントで終わってほしくない。村のレガシーを未来に残すものであってほしいが、その点はどうか。

答 本村のキャラクター創設に関わる費用を予算計上しており、長期的に活用できる仕組みを構築する。千早赤阪村歌と千早赤阪音頭を再生し、今後イベントや地域での取り組み等で継続的に活用し文化資産として位置付けていく。それぞれが受け継げるレガシーとなるよう取り組んでいく。

農と緑の活性化に向けた取り組み

問 活性化ビジョンを令和7年度中に作成すると聞いたが、検討状況は。

答 令和7年度中の策定に向け、計画どおり。

問 3月中に活性化に向けたビジョンができると聞いているが、村として

どういう方向を目指すのか。具体的にどう取り組むのか。前村長が進めていた楠公誕生地周辺の活性化構想と何が違うのかを伺う。

答 村に人や物呼び込む取り組みが不可欠と認識している。楠公誕生地周辺では、滞在型のコト消費である観光農園の立地に力を入れ、金剛山周辺との周遊を創出した。農の高収益化特産品のブランド化に取り組み。府が育成を進める農業者と村の農地のマッチングを行い、観光農園を呼ぶことにより賑わいを創出する。それとともにふるさと納税の返礼品の魅力向上に取り組み。前村長の下で進められた楠公誕生地周辺活性化・交流拠点事業は、大きな構想があるので具体的な実施計画がないにも関わらず、村が広大な土地を先行取得するという事業手法に大きな問題がある

と判断した。今回の活性化に向けた取り組みは、大規模な土地購入を前提とした前村長の構想・事業とは全く別の手法である。



くすのき市



大阪唯一、小さな村から、
大きな未来

(村制施行 70 周年記念ロゴマーク・キャッチフレーズ)

この他下記の質問を致しました。YouTubeにてご確認お願い致します。
新モビリティの実証実験について



問

くすのきホール改修と今後の活用

答

議会に示し議論する

井上浩一議員

【答】 くすのきホール展示ギャラリー等の天井改修工事は6月末の完了を予定している。

定期利用団体へは、議会説明後すぐに連絡周知した。補

【問】 代替会場の近隣市町との連携と手続きの利便性、大ホール活用の選択肢と条件、そして方向性の決定方法について、副村長に伺う。

【答】 近隣市町の文化ホール等へ大ホールの使用中止を伝え、問合せの対応をお願いしている。大ホールは、改修に5億円超を要する。維持費も高額であり、利用も少なく財政負担が大きい。ため、用途廃止を含めた見直しを進めている。歴史観光拠点としての立地を踏まえ活用策を検討するが、天井改修は不可欠で多額の費用が必要。今後の方針は公共施設マネジメント検討会で議論する。

【問】 5億円超の積算内訳は。天井改修のみを行った場合の最低限の安全確保コストとの比較資料も求める。大ホールを小規模区画に転換する場合、現行の大空間天井を維持せず改修費を抑えられる可能性はある。この点の技術的検討の有無を伺う。利用が少ない理由が施設側の制限か需要不足か、その分析結果を伺う。また、利用増で財政負担



岩井谷水源



改修工事中のくすのきホール

が増えるという説明の増加する費目の具体的根拠は。大ホール廃止は重大事項、検討会の議論をどのように透明化し住民へ情報公開するのか伺う。

課題があり、具体的検討はなし。今後は検討会で議論し、個別施設計画の改定案や予算案として議会に示し、議論を経て決定する。

【答】 概算費用の内訳は、音響1億5千万円、照明1億5千万円、舞台設備2億円、天井ネット工法3千万円（ただし既存不適格のまま）。大ホールの利用は需要が少なく担当課は判断する。ランニングコストは、土日祝9〜17時の利用で材料3万4千円に対し、運営委託料7万2600円が必要、空調の光熱費、つり物点検（年2回）、音響点検（年1回）など委託料も発生。大ホールの用途見直しは、コストや建築基準法などの

ぎ か い の 窓

○村内の水道設備について

(1月26日)

近年の気象の変化や山林などの保水力の低下で、本村の主たる水源である岩井谷浄水場水源地の取水量が年々減少したことに加えて、9月以降の雨量不足により、村内の一部地域において節水への協力を呼びかけられました。この事態を受けて、村議会は、岩井谷水道施設の状況を視察・見学を行いました。現状は、老朽化が深刻化しており、施設能力の限界を迎えていました。

我々は、大阪府の水を安定供給できるように、早期の連絡管完成の必要性を再認識しました。



岩井谷水処理施設

○くすのき市

(3月28日・楠公誕生地前)

応援商品券の使用開始に合わ

せ、応援商品券消費喚起事業として「くすのき市」が開催されました。また、今回はさらに大阪府主催のイベント「新モビFEST A in 南河内地域」及び「千早赤阪わくわく寄席祭」が同時開催され、会場全体が活気あふれる一日となりました。

会場には、村特産品の販売や餅まきイベントをはじめ、人気のお笑い芸人による漫才等の披露や自動運転技術の展示各種イベントが盛り沢山とあって、多くの方がご来場し、大盛況となりました。地域の方と楽しく過ごすことができた。地域振興という本イベントの目的を大いに果たすことが出来たと感じています。今後も、このような事業を継続し、千早赤阪村の魅力発信に取り組んでほしいと思います。本当に良いイベントでした。

(建石)



餅まきイベントの様子

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か



次 回 議 会 の 予 定

次回定例会の予定は、
6月4日(木)から6月19日(金)です。
6月4日(木) 本会議 初日(議案上程) 午前10時
6月5日(金) 本会議 2日目(一般質問) 午前10時
6月10日(水) 村づくり常任委員会及び予算常任委員 午前10時
6月19日(金) 本会議 最終日 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。本会議及び各種委員会は、傍聴できます。(定員10人) 1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることができます。本会議の様子をYouTube配信していますので、ぜひ視聴ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑 感

昭和41年4月、村営として開業し、こどもからお年寄りまで気軽に登山出来るようになった金剛山ロープウェイが約50年の歴史に幕を閉じました。多い年には推定120万(広報平成4年12月参考)の一部の人の足となり大晦日のオールナイト営業や、樹氷祭り、学生の耐寒登山と多岐にわたって活躍してきました。平成3年の大河ドラマ「太平記」の放送で全国各地から多くの観光客や登山者が訪れました。しかし令和3年3月議会

で耐震不足のため金剛山ロープウェイの条例の廃止が議決されその後大阪府とサウンディング型市場調査を実施するが民間の活用提案も無く令和8年1月撤去工事が完了しました(同時期に香楠荘も撤去工事完了)。もし金剛山中腹ではなく山頂に駅があれば少し歴史は変わっていたかもしれません。今回、自分自身の目で見ながら登るのは新鮮でした。身近な金剛山を再確認するのも良いかもしれません。

(尾崎)

広 報 編 集 委 員 会

委員長	畑智恵美	副委員長	中野智子
委員	井上浩一	委員	南本 齋
委員	尾崎充宏	議長	田村 陽